事務事業評価シート　平成 27 年度事後評価・決算

平成 29 年 2 月 22 日時点

所管課	学校教育課	担当班	学務班

事務事業名	コード	35200	育英資金給付事業	予算科目	会計	款	項	目
					一般	10	1	2

施策体系						
基本施策	7	子育て支援の充実	根拠法令	旭市育英資金給付条例、旭市育英資金給付条例施行規則		
施策の展開	16	子育て世帯への経済的支援	戦略事業	88	育英資金給付事業	
施策の展開			戦略事業			

事業種別
- ☑ 主な事業
- ☐ 国土強靭化地域計画
- ☐ 新市建設計画
- ☐ 定住自立圏構想
- ☐ 主要事業

(1)事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容　※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
☑ 単年度繰返 ☑ 平成 17 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 ＿ 年度～ 平成 ＿ 年度まで	特に優れた資質を有しているが経済的理由により修学困難な生徒に対し、教育の機会均等を損なうことがないように助け、将来旭市の発展及び社会に貢献できる青年の育成を図ることを目的とし、育英資金を給付する。

③事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④事務事業に関する課題・環境の変化	⑤事務事業に対する住民からの意見等
合併前の奨学金制度は旧旭市・旧干潟町では給付、旧海上町・旧飯岡町では貸付としての制度であったが、合併により新旭市の奨学金制度は、給付事業として統合された。	近年は高校の授業料無料化等の影響もあり、高校生の応募が少なくなっているので、大学生等を含めた募集枠について検討する必要がある。	特になし

(2)コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(27年度の決算)	単位:千円	
1委員報酬	36	育英資金給付選考委員会委員報酬
2給付金	4,823	育英資金給付金
	0	
	0	
	0	

② 特定財源の内訳(27年度の決算)	単位:千円	
1.国庫支出金	0	
2.都道府県支出金	0	
3.地方債	0	
4.その他	22	育英基金利子

前年度増減理由	選考委員会委員報酬3人増 27年度新育英生を16人予定していたが6人だったため給付金が減少

事業費		単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)
費目内訳	1. 委員報酬	千円	18	18	18	36	36
	2. 給付金	千円	5,627	6,487	6,437	4,823	5,346
		千円					
		千円					
		千円					
事業費計 (A)		千円	5,645	6,505	6,455	4,859	5,382
財源	1. 国庫支出金	千円					
	2. 都道府県支出金	千円					
	3. 地方債	千円					
	4. その他	千円	26	33	6	22	1
	5. 一般財源	千円	5,619	6,472	6,449	4,837	5,381

従事職員数	常時 1 人	最大 2 人 × 5 日 = 延べ 10 人

(3)事務事業の手段・目的と対応する指標

手段

① 主な活動

27年度実績(27年度に行った主な活動)
4月…27年度育英生選考委員会
10月…28年度育英生募集チラシを市内各中学校及び近隣高校(17校)に送付
1月…28年度育英生募集をホームページに掲載
2月…28年度育英生募集要項を市内各中学校へ持参、現育英生就学状況照会
3月…広報3月1日号に募集内容掲載及び申込の受付、現育英生進路状況報告

⇨

③ 活動指標名	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
ア 育英資金給付出願者数	人	17	17	21	7	19
イ 育英生の募集を周知した学校数	校	5	5	5	22	22

目的

② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	
対象	市内中学3年生及び高校生
意図	制度の活用により、優れた資質を有する生徒に修学の機会が与えられる
対象	
意図	

⇨

④ 成果指標名	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
ア 育英資金新規給付決定者数(高校生)	人	5	4	3	2	3
イ 育英資金新規給付決定者数(大学生等)	人	12	10	8	4	11

(4)事務事業優先度評価の結果

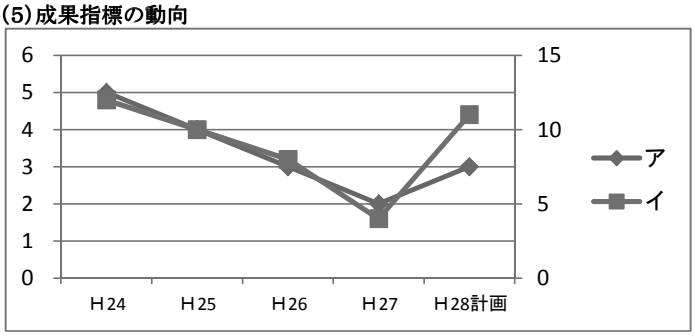
①成果優先度評価結果

施策貢献度 ＼ 成果向上余地	かなりある	ある程度ある	ほとんどない
大きい			
普通		⑤	
小さい			

②コスト削減優先度評価結果

成果優先度評価結果 ＼ コスト比率	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
①			
②③			
④⑤⑥	(4)		
⑦⑧⑨			

(5)成果指標の動向



(6)事務事業に関する評価

評価内容

① 進捗状況　☐ 完了　☐ 順調　☑ 概ね順調　☐ 停滞　☐ 実施困難

【コメント】(停滞・実施困難の場合、その理由)

② 成果の状況

成果指標	成果指標のタイプ					
成果指標ア		↗	数値増＝成果向上	☐ 向上	☐ 横ばい	☑ 低下
成果指標イ		↗	数値増＝成果向上	☐ 向上	☐ 横ばい	☑ 低下

【コメント】(低下の場合、その理由)

27年度新育英生を16人予定していたが、応募が少なく給付者数が減となった。そのため、市内中学校だけでなく近隣高校17校に募集チラシを送付。

成果動向

比較	23年度 / 24年度	24年度 / 25年度	25年度 / 26年度	26年度 / 27年度	27年度 / 28計画
ア	1	△ 1	△ 1	△ 1	1
イ	2	△ 2	△ 2	△ 4	7

③ 今年度取組事項(今年度新たに取り組む事項について記載)

時期	内容
9月	高校生8人、大学生8人の枠について検討する。

今後の方向性

☐ 拡大　☐ 現状維持　☑ 見直し
☐ 縮小　☐ 廃止・休止　☐ その他 (　　)

平成29年度：募集枠を見直し(高校生8人→6人、大学生等8人→10人)、新たな人数枠において事務を行う。